

堀内誠一展

FASHION FANTASY FUTURE

会期 2026 4/18(土) ~ 6/7(日)

開館時間 9:30 ~ 17:00 (最終入場 16:30)

休館日 月曜日 (ただし5/4は開館、5/7は休館)

観覧料 一般 1200 (960) 円
高・高専・大学生 600 (480) 円
小・中学生 400 (320) 円

※()内は20名以上の団体割引料金 ※いわき市内在住の65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料 ※いわき市内の小・中・高・専修(高等課程)・高専生は、土曜日と日曜日のみ無料

アクセス



交通のご案内

- JR常磐線・磐越東線いわき駅南口より徒歩12分
- 高速バス(東京-いわき線、郡山-いわき線、福島-いわき線) 平中町バス停より徒歩3分
- 常磐自動車道いわき中央ICより車で15分
- 駐車場は近隣の公共駐車場 P1 P2 をご利用ください。P1 美術館(44台)、P2 文化センター(69台)、P3 エリム(19台)、P4 童子町(82台)、P5 梅本(268台)
- 有料駐車場 P6 平新川(51台)、P7 平十五丁目(131台)は、美術館利用の場合、最大3時間までの駐車券を1階受付にてお渡しします。
- 市役所駐車場 P8(240台)は、土日祝日は一般開放しています。

EVENT SCHEDULE

4/18(土) 11:00 ~ 12:00
企画展示室
ギャラリートーク・ショー
「父・堀内誠一のこと」

講師 堀内花子 (堀内誠一 長女)

4/25(土) 定員 40名 (先着順) 参加費 無料
14:00 ~ 15:30
3F セミナー室
講演会
「『anan』での堀内誠一の仕事」

講師 椎根和 (作家・元編集者)

4/26(日) 14:00 ~ 15:00
企画展示室
ギャラリートーク
講師 林綾野 (本展キュレーター)

5/23(土) 14:00 ~ 15:30
企画展示室
トーク・ショー
「堀内誠一のアート・ディレクション」

講師 有山達也 (アートディレクター・グラフィックデザイナー)

聞き手 草刈大介 (PLAY! プロデューサー)

※すべての催しは事前申込不要。
展示室で開催するものは参加に観覧券チケットが必要。

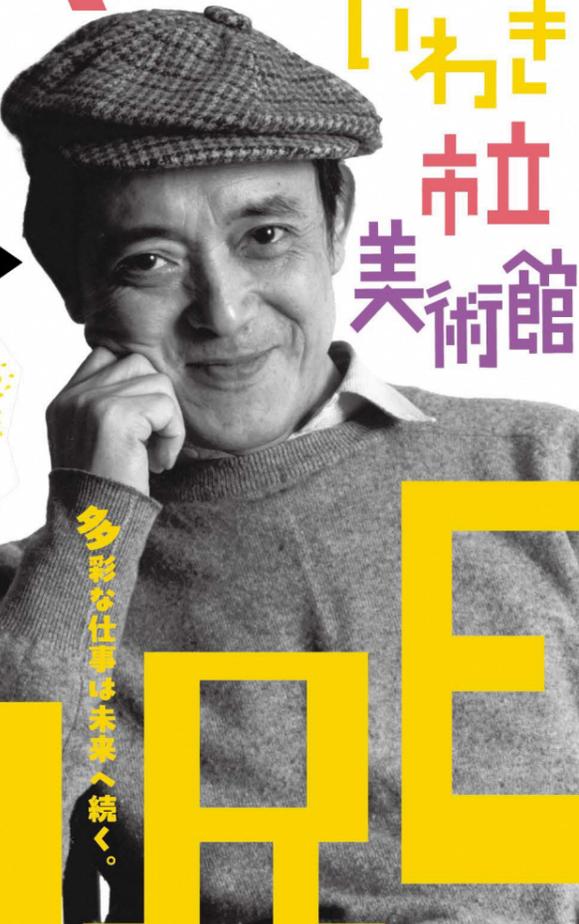
堀内誠一展



夢いっぱい
の絵本を
生み、



FASHION FANTASY FUTURE



ふくしま DC 特別企画

主催 いわき市立美術館
福島民報社 福島テレビ
特別協力 堀内事務所
協力 福音館書店 マガジンハウス
企画協力 ブルーシーブ アートキッチン

〒970-8026 いわき市平字堂根町 4-4
phone 0246-25-1111 fax 0246-25-1115
https://www.city.iwaki.lg.jp/artmuseum.html

いわき市立美術館



堀内誠一展

FASHION FANTASY FUTURE

堀内誠一（1932—1987）は、絵本作家（★1）、デザイナー、アートディレクター（★2）、著述家（★3）などいくつもの顔を持ち、それぞれの分野で卓越した仕事をしたアーティストです。絵本作家としては、子どもたちに愛されている『ぐるんぱのようちえん』をはじめ70冊以上をてがけ、物語内容に合わせて多様なスタイルで描きました。

デザイナーとしては『anan』、『BRUTUS』、『POPEYE』のタイトルロゴ（★4）を創作したほか、雑誌や本、広告など多様な分野で印象的な仕事を数多く残しました。またアートディレクターとしては、1970年に創刊された『anan』（★5）で、立ち上げから2年ほど中心的な役割を果たし、それまでの日本にはなかった、おしゃれでわくわくするビジュアル・ファッションマガジンを創り上げ、多くの人に影響を与えるなど、いくつもの雑誌で活躍しました。

今回の展覧会では、『anan』の誌面を通してデザインワークやそのアートディレクションをひも解く「FASHION」の章、ファンタジー色の強い絵本の原画を展示する「FANTASY」の章、そして100人以上のクリエイターや編集者などが堀内の魅力を伝え、その仕事を未来につなげようとする「FUTURE」の章による三部構成で、堀内誠一の多彩な仕事を紹介します。

★1

堀内は絵本だけでなく、『ロボット・カミイ』や『マザー・グースのうた』など60冊以上の本の挿絵でも活躍しました。その姿勢は「画家のすべき仕事は物語ののべる事柄と精神を的確につかみ、具体的に表して彼等を助け、物語をいく倍にも楽しくすること。」という言葉に表れています。

★2

アートディレクターとは、雑誌全体のビジュアル表現の方向性を決め、デザインを指揮・監修する責任者です。企画・編集スタッフと協力して、雑誌をより魅力的なものとし、雑誌のコンセプトにも関わり、また海外ロケの企画の中心となり、時には自ら写真を撮り、文章を書くなど、マルチな活躍をしました。

★3

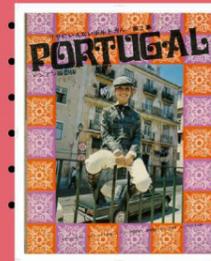
堀内は世界のすぐれた絵本作家を紹介する『絵本の世界・110人のイラストレーター』や、イラストや絵地図が印象的な『guide anan パリからの旅』を手がけるなど、著述家としても知られています。それらにもこの世界のすばらしいことを伝えようとする精神がうかがわれます。

★4

堀内が手がけた雑誌のタイトルロゴはほかにもたくさんあります。『オリーブ』、『クロワッサン』、『ダカーポ』、『たくさんのふしぎ』、『血と薔薇』、『ESSE』など。今まで名前を知らなかった人でも、堀内誠一が身近に感じられませんか。

★5

『anan』は第7号で、服を着ることだけがおしゃれではなく、脱ぐこと、リズムをとること、踊ること、話すこと、食べること、住むこと、旅すること、みんなファッションであると主張します。そして「若い読者とともに、広い意味でのファッションのゆくえを探るのが、フィーリング・マガジン『アナン』であり、読者の「フィーリングをみぐための雑誌」と宣言しています。それまで国内では、読者が服を作るための実用的な服飾雑誌はありましたが、『anan』のような雑誌はなく、革新性が際立っていました。



<キャプション>1|ロシア・サントペテルブルクにて(1981)、2-12,36,38,40『anan』(1970-1972) [2|45号中面,3|49号中面,4|7号表紙,5|47号表紙,6|4号表紙,7|2号中面,8|13号表紙,9|11号表紙,10|45号中面,11|34号中面,12|13号中面,36|43号中面,38|16号中面,40|15号中面],13|『POPEYE』ロゴ(1976年),14|『BRUTUS』ロゴ(1980年),15,26|『パンのかけらとちいさなあくま』(1979年),16,23|『ぐるんぱのようちえん』(1965年),17,27|『オズの魔法使い』(1969年),18,19|『てがみのえほん』(1972年),20,21,22|『くろまブランキー』(1958年),24,28|『七わのからず』(1959年),25|『くるみわりにんぎょう』(1968年) 借成社,29|『どうぶつしんぶん』はるのごう(1983年),30|『キエフのかえで林』(1982年),31|『若い女性像』(1949年),32|『バルセロナの子どもたち』(1977年),33|『guide anan パリからの旅』(1981年),34|『あかずさん』(1970年),35|『ロボット・カミイ』(1970年),37|『おやゆびちゃん』(1967年),39|『おおくなるの』(1964年),41|『母の友』表紙(1960年3月号),42|『雪わたり』(1969年)

<クレジット等>

※2-14,33,36,38,40 平凡出版 © マガジンハウス

※15,16,18-24,26,28,29,34,35,37,39,41,42 福音館書店

※17,27 世界文化社,2022年借成社で復刊

※13-14 © Hearst Holdings, Inc.

※すべて © Seichi Horiuchi

◦1,2,10,32: 堀内による写真 ◦『anan』の表紙および中面: 堀内がアートディレクションしたもの ◦残りのすべて: 堀内が原画を描くなど制作したもの

